



# 金沢脳神経外科病院だより ふれあい

2005年  
夏季号

日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 浅ノ川  
金沢脳神経外科病院 広報誌  
第19号  
発行所 メディア広報室  
石川郡野々市町徳用町315  
TEL 076-246-5600  
FAX 076-246-3914  
URL : <http://www.incl.ne.jp/knouge/>

## 病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

## 基本方針

1. 患者の皆様の権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

## 患者さまの権利

私達は患者の皆様の権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様の権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、充分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

病院長



佐藤  
秀次  
病院長

本院が腰椎疾患に対するMD手術に取り組んで約2年8ヶ月が過ぎました。この間、県内外から既に300人を超える人が本院のMD手術を受けておられます。MD手術は、腰椎椎間板ヘルニア、狭窄症、腰椎症からすべり症に至るまで殆どの変性腰椎疾患に対して行われています。すべり症では、僅か3cmの切開でスクリュー固定を行っています。これらの手術成績は6月に札幌で開催された日本脊髄外科学会で発表いたしました。患者の視点に立った、患者に優しい手術、それがMD手術であり、術後の痛みは軽く、手術成績は極めて良好であることから、今後、腰椎手術の主流になることは間違いないと確信を深めました。石川県でも徐々にMD手術が普及し始めおり、低侵襲手術の提唱者の一人として、大変喜ばしく思つております。



頸椎のMD手術

今回ご紹介する医療機関は、痛みをえず、痛みをとる」手術法の開発・改良に努めて参ります。当院の地域医療連携に早くからご理解、ご協力を頂いております。今後も引き続き変わらぬ連携を宜しくお願い致します。

## 頸椎椎間板ヘルニア に対するMD手術

的な手術法は、頸部前側方から約5cmの切開で、椎間板とヘルニアを摘出してから、頸椎固定を行います。固定した骨が癒合して安定するまで約3ヶ月かかります。これに対して、MD法は頸部後方に僅か2cmの切開を加えるのみで、ヘルニアを摘出し、頸椎固定は行いません。そのため、頸部カラーアーは術後1週間以内ですみ、早期の社会復帰が可能になります。術後、翌日から歩行できるのは腰椎ヘルニアと同じです。

本院はこれからも、「患者に痛みを与えず、痛みをとる」手術法の開発・改良に努めて参ります。

くだ外科医院です。筑田先生には、当院の地域医療連携に早くからご理解、ご協力を頂いております。今後も引き続き変わらぬ連携を宜しくお願い致します。

## 登録医療機関 紹介コーナー



ちくだ外科医院  
(白山市倉光六丁目)

院長 筑田正志 先生

### 地域に根ざした“かかりつけ医” となつて三十三年

JR松任駅前の中央通りを松任中学校へ向かつて十五分ほど歩くと今回ご紹介する筑田先生の医院があります。先生は、金沢大学第二外科研究員から福井病院を経て昭和四十七年（西暦一九七二年）十月に現在地で開業されました。標榜科目は、外科・

胃腸科・肛門科・整形外科・麻酔科です。先生は、いくつもの専門医、認定医を取得されています。特に力を入れている疾患は、”痔疾患”と伺っております。痔を患っている方には十

より、高齢者の在宅療養が減っていることを懸念されています。地元の企業の産業医やグループホームの嘱託医も務めておられる先生から「金沢脳神経外科病院は、専門医がいつでも診てくれるから、安心できる連携病院です。」とのお言葉を添えて頂きました。

※日本外科学会認定医、日本消化器外科学会認定医、日本大腸肛門病学会専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター等

する予定です。

これから医療は、疾病構造の変化や医療提供のあり方の変化に伴い、より高度化し、それぞれの専門に応じた機能分担などが一段と進み、これまで以上にチーム医療が求められるものと考えられます。

そのようななかで、”最善の医療を安全に患者様に提供していく”には、診療にあたる医療スタッフが、患者様の診療情報を正確かつタイムリーに共有する必要があります。そのための手段として電子カルテシステムが最も有用と考えられます。

電子カルテシステム導入後においても、患者様に対する外来での診察はこれまでと大きな変



## 電子カルテシステム導入について

### —医療の質の向上を目指して—

事務長 谷 寛憲

当院では、今年11月から現在、紙のカルテで行っている診療の記録及び保存を電子媒体の診療記録（電子カルテ）に変更し運用する予定です。

これまでの診療行為の診察室での入力により、医師自身が入力端末に向かう時間が今までよりも若干長くなるかもしれません。これは患者様が診察を終わられ少しでも会計での待ち時間を短縮するためのものですのでご理解の程をよろしくお願い申し上げます。

電子カルテシステム導入後に



# 認知症について①

副院長 山本 信孝

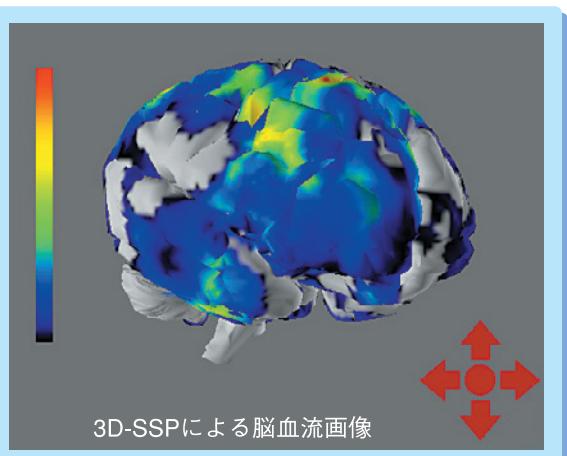
以前「痴呆症」と呼ばれていましたが、病名に抵抗を感ずる方が多いため「認知症」という呼称が使われるようになりました。しかし、この病名は病態を正確にあらわしているとは言い難く、認知障害を生じ、正常な社会生活が営めなくなつた状態です。

認知症の原因としては多くのものが知られていますが代表的なのはアルツハイマー型痴呆や脳梗塞や脳出血の後に生じるものでいわゆる生活習慣病を予防する事により発生を防ぐ事ができる可能性があります。

これに対しアルツハイマー型は原因が不明であり症状そのものを改善させる事は困難です。しかし、

遅症のうちに発見できれば進行を止める事でこれを使用すれば有意義な社会生活を長く送る事が出来る可能性が高くなります。

初期症状としては時間の感覚が無くなる、食事したかどうかがわからなくなるなどで、人の名前が出てこないとか物をどこに置いたか分からなくなるなどは病的なものとは言えません。アルツハイマー型痴呆が疑われた場合、SPECTによる脳血流測定を、当院で行っている3D-SSPと呼ばれる特殊な処理により、脳表の血流分布を検討する事により早期診断する事が可能です。



## 病院脳神経外科学会に 参加して

放射線部 潟辺 陽一

7月16日（土）、17日（日）に第8回日本病院脳神経外科学会が鹿児島県にて開催され、「脳血流SPECT検査における統計学的画像解析ソフトの検討」という演題で、研究発表をさせて頂きました。私としては生涯初めての研究発表ということもあり、期待と不安が入り混じった中での発表となりましたが、日本全国から集まった医師、看護師、コメディカルなど、様々な職種の方々が、私の演題に対して色々な意見・質問をして頂きとても有意義な発表となりました。また、他の病院の方々の

創造力に富んだ発表も数多く拝見し、医療は日々進化していくということを感じ、非常に充実した時間を過ごすことができました。このような学会に参加した経験を糧に、診療放射線技師として知識・技術だけでなく人間的にもより一層精進していき、今後さらに皆様から信頼が得られるように努力していくたいと思っています。

## 医療相談室が新しくなりました

4月から、医療相談室が正面玄関横に設置されました。「病気になり医療費が心配、退院後の生活をどうしたらよいかわからない。」など、医療に対するさまざまなお悩みの方はお気軽に総合受付までお申し下さい。専門の相談員がご相談に応じます。



## ホームページが新しくなりました

当院のホームページをご存知ですか？

このホームページでは、現在、当院が取り組んでいる「体にやさしい低侵襲手術（M D法）」などについてわかり易く解説しています。

これからも患者様が望まれる情報などについてわかり易く、迅速をモットーに更新して参ります。ぜひ一度ご覧になってください。



## 全職員が「心肺蘇生法」を勉強しました

2004年7月より、一般市民でも心肺停止した人にA E D（自動式除細動器）の使用ができるようになりました。今後、日本中の駅や空港などの公共施設にA E Dが整備されるものと思われます。当院では既にA E Dを整備しており、先般、職員全員が緊急時に使用できるよう麻酔科医から指導を受けました。



## 皆様からのご意見

### 7月2日（土）のご意見 [外来・家族]

診察が終わり、会計での支払いを待つ時間がとても長すぎます。

もう少し早くしてください。

### お答え

お待たせして大変申し訳ございません。

安全のためのお薬の確認作業等に加え、7月より会計システムが新しくなり、操作に不慣れなため会計処理に手間取りご迷惑をおかけいたしました。

今後、一層待ち時間短縮に鋭意努めてまいります。

## 第52回救急症例検討会を当院で開催

6月22日（水）当院において、地域消防署（白山石川広域事務組合）の救急救命士及び救急隊員と当院の医師が、これまで当院に救急搬送された救急症例の検討会を開催しました。

また、検討会に引き続き当院の鳥越医師が「運動・知覚障害」について特別講演を行いました。

次回は、9月7日（水）に開催が予定されています。



編集委員	集 錄 後 記
田野、谷村、中野、山口、寺田	前 任 者 より、編集の仕事を受け継ぎ、2号目などを投書いただければ幸いです。
谷村、中野、山口、寺田	紙面上でお見苦しい点が多くあります。
寺田	ご意見等がございましたらぜひ、「ご意見箱」に投書いただければ幸いです。

外 来 診 療 担 当 医 表							
平成17年8月25日現在							
受付時間	月	火	水	木	金	土	
午前 8：30～ ～11：00	1診 (初診・紹介のみ) 佐藤院長	(初診・紹介のみ) 10:30まで 佐藤院長	梅森	山本副院長	山本副院長	※担当医は決 まっており ません	
	2診 梅森	山本副院長	山本副院長	梅森	竹内		
	3診 竹内	竹内	角家	神経内科	飯田		
	4診 朴	循環器内科	内科	循環器内科	脊椎外来 もの忘れ外来 佐藤院長		
午後 1：30～ ～4：30	手術	手術	手術	手術	手術	午後休診	
	1診 赤井	富子顧問	白神	神経内科	富子顧問		
	2診		内科	富子顧問	リハビリテーション科 河崎		
	3診 梅森		脳ドック 梅森		脳ドック 山本副院長		